

2016年度

事業報告書

2016(平成28)年4月1日



2017(平成29)年3月31日

2016年度事業報告について	…	1
第一部 西南女学院の概要		
1. 法人の概要	…	3
2. 設置する学校の概要及び教育目的	…	3
3. 主要行事	…	5
4. 宗教教育活動	…	6
5. 学生・生徒・園児	…	10
(1) 志願者数 (2) 在籍者数 (3) 卒業生数		
6. 教職員組織	…	12
7. 役員・評議員	…	12
8. 理事会議案及び決議	…	14
第二部 事業の概要・財務の概要		
1. 事業及び決算の概要	…	16
2. 財務の概要(2016年度予算の主な執行状況)	…	18
(1) 資金収支計算 (2) 事業活動収支 (3) 貸借対照表		
(4) 学生数・財務比率などの推移		

学校法人西南女学院

2016年度事業報告について

2017年5月

学校法人西南女学院

理事長 向 雅彦

西南女学院は、1899年から20年間にわたり熊本で宣教活動を行った米国南部バプテスト海外伝道局宣教師L. D. クラーク師の祈り「日本婦人に教育と伝道を」を継承し1922年4月、J. H. ロウ宣教師（1876～1929）によって「キリスト教に基づく女子教育を行うこと。」を目的として創立されました。以来、今日まで皆様のご支援を賜り2017年4月18日には、95周年を迎えることができました。ひとえに西南女学院を信頼し、学生、生徒、園児を西南女学院におくってくださいます保護者の皆様と地域の皆様の深いご理解の賜と感謝いたしております。

さて、中学校・高等学校では、ロウ記念講堂は皆様のご支援によりまして、2016年11月1日に改修工事完成式を迎えることができました。このことにつきましては、村瀬泉校長記載の「クローズアップ」(広報西南女学院第91号 2016年10月31日発行)を併せてご覧いただければと存じます。

大学では、地元自治体と企業の皆様のご協力によりPBL(Project Based Learning)型授業を本格的に開始いたしました。これは、チーム力による課題解決能力と自主性・自律性を伸張させていく授業形態で、その効果的な学修活動のための環境としてアクティブラーニングプレイスも整備いたしました。また、地域とともに歩む大学としてのさらなる発展を期して「地域連携室」を開設いたしました。今後は、一層地域住民の健康と福祉、子育て支援、産業と地域の活性化につながる地域貢献活動に取り組んでまいります。

大学短期大学部では、生活創造学科の募集停止を決定いたしました。1950年の短期大学制度発足と同時に設置の家政科は、社会の変化に応じて2002年に生活創造学科へと転身しながら伝統の教育を継続し、1万人を超える卒業生は各界から高い評価を得ております。しかしながら、現代の短期大学の教育に対する社会のニーズに鑑み、このたびの結論に至らざるを得ませんでした。卒業年度を迎える在学生への教育、進路支援などにつきましては、これまでと同様に万全の体制で臨み、2018年度からは、保育科による単科短期大学として有為な専門職を送り出してまいります。なお、一般財団法人短期大学基準協会による機関別評価において「自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて改善に努めており基準を満たしている。」と判断され2017年3月10日付で適格との評価を得ておりますことをご報告申し上げます。

2016年度の事業及び決算につきましては、教育研究における重点分野及び学生生徒の人員等について事業計画を立て実施してまいりました。本報告書の「第二部 事業の概要・財務の概要」において詳細をご報告申し上げますのでご高覧ください。

西南女学院といたしましては、今日の就学事情や社会の構造的な変化に伴い、経営の安定化について、意識を強く持ち学校経営を行うことがますます必要になったと考えておりますが、学生、生徒、園児並びに保護者の皆様からのご満足を頂けることを第一義とした教育に専心してまいります。

これからも主のご恩寵に感謝し、西南女学院でなければならない特色ある女子教育の実践として、教育の質の向上、環境の整備、一人ひとりを大切にする教育を旨として、来る2022年の創立100周年を迎える所存でございます。関係の皆様には、今後ともご後援賜りますようお願い申し上げます。2016年度の事業報告とさせていただきます。

第一部

西南女学院の概要

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

「感恩奉仕」

神さまをはっきりと心に宿せば宿すほど、私たちの心に“有難い”という感じが湧いてきます。家族がどれほど有難いものか、この世界に生まれたことがどれほど有難いものかがよく解ってきます。“有難い”との感が起こると、進んで親のために兄弟のために又は社会のために小さい事でも出来る限り働いて差し上げようとの感じが起こってきます。この“有難い”という気持ちを西南女学院では『感恩』といい、他者のために働く事を『奉仕』といいます。

この理念は、学生・生徒・園児の教育理念であると同時に、西南女学院の教育活動に参画している全ての職員の職務理念であります。

西南女学院は、キリスト教に基づく使命感、優れた教養と知識と技能をあわせもつ女性を育成するために、各学校の一層の充実を図りながら総合的な学園として発展し続けています。

(2) 沿革

1922(大正11)年	西南女学院設立(5年制高等女学校)
1938(昭和13)年	財団法人西南女学院設立
1946(昭和21)年	西南女学院専門学校設置(英語科・生活科)
1947(昭和22)年	学制改革により西南女学院中学校設置
1948(昭和23)年	学制改革により西南女学院高等学校設置
1950(昭和25)年	西南女学院短期大学設置(英語科・家政科)
1951(昭和26)年	学校法人西南女学院設立
1952(昭和27)年	西南女学院幼稚園設置
1958(昭和33)年	西南女学院短期大学保育科設置
1971(昭和46)年	西南女学院短期大学食物栄養科設置
1994(平成6)年	西南女学院大学保健福祉学部設置
2002(平成14)年	西南女学院大学保健福祉学部栄養学科設置(短期大学食物栄養学科を改組)
2002(平成14)年	西南女学院大学人文学部人文学科設置(短期大学英語科を改組)
2002(平成14)年	西南女学院短期大学家政科を生活創造学科に名称変更
2003(平成15)年	西南女学院短期大学英語科、食物栄養科廃止
2004(平成16)年	西南女学院短期大学を西南女学院大学短期大学部に名称変更
2004(平成16)年	西南女学院短期大学附属シオン山幼稚園を西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園に名称変更
2006(平成18)年	西南女学院大学人文学部英語学科及び観光文化学科設置(人文学部人文学科を改組)
2008(平成20)年	西南女学院大学助産別科開設

2. 設置する学校の概要及び教育目的

※括弧内の数字は2016年度収容定員

(1) 西南女学院大学

西南女学院大学は、教育基本法及び学校教育法に則り、キリスト教を教育の基盤として、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究するとともに、豊かな人間性を涵養し、もって人類の福祉と文化の発展とに貢献する有為の人物を育成することを目的としています。

□ 保健福祉学部

保健福祉学部は、豊かな教養と倫理観を培い、看護、福祉、栄養の知識と技術を教授し、専門職者としての実践力と協働力を育むとともに、平和を愛する国際的視野をもって人々の幸福に貢献できる人材を育成することを目的としています。

■ 看護学科(360)

看護学科は、保健と看護の知識、技術を修得させ、人々の健康ニーズに応え、保健医療福祉の向上に寄与する人材を育成することを目的としています。

■ 福祉学科(320)

福祉学科は、ヒューマンサービスの専門家として必要な知識、技術を修得させ、想像

力と創造力のある福祉、教育及び保育の分野で貢献できる人材を育成することを目的としています。

■ 栄養学科(400)

栄養学科は、「人」と「食」の両面より栄養を総合的に理解し、人々の健康に貢献できる管理栄養士及び栄養士を養成することを目的としています。

□ 人文学部

人文学部は、豊かな人間性を養い、礼節を身につけ、専門的能力をもってグローバル化、情報化が進む国際社会及び地域社会において主体的に活動し、貢献できる人材を育成することを目的としています。

■ 英語学科(240)

英語学科は、英語によるグローバル・コミュニケーション能力をもち、国際的視野と地域的視野に立って思考し、自主的に行動できる有能な人材を育成することを目的としています。

■ 観光文化学科(240)

観光文化学科は、ホスピタリティのこころを育み、ツーリズム及びビジネス全般に有用な基礎的教養と専門的能力を備えた人材を育成することを目的としています。

□ 助産別科(16)

助産別科は、助産の対象である女性、乳幼児及びその家族を全人的に理解するとともに、助産の知識と実践力を有し、専門職として自立した助産師を育成することを目的としています。

(2) 西南女学院大学短期大学部

西南女学院大学短期大学部は、キリスト教を教育の基本として女子に高い教養を授けるとともに生活に必要な専門の教育を施し、よき社会人を育成することを目的としています。

□ 生活創造学科(200)

生活創造学科は、個人から家庭さらに社会への繋がりの中で、生活の質の向上と人間の幸福に貢献し、豊かな知性と感性を備える自立した生活者を育成することを目的としています。

□ 保育科(300)

保育科は、豊かな感性を有し、専門的知識と技術を備えた保育者を養成することを目的としています。

(3) 西南女学院高等学校 全日制課程 普通科(480)

西南女学院高等学校は、キリスト教に基づき女子の人格完成を旨とし、教育基本法、学校教育法及びその他の教育に関する法令により高等普通教育を行うことを目的としています。また、入学者のうち西南女学院中学校を卒業した者に対して、その中学校における教育とあわせた中高一貫教育（併設型高等学校）を行います。

(4) 西南女学院中学校(240)

西南女学院中学校は、キリスト教に基づき心身の発達に応じて、女子の人格を養成することを旨とし、教育諸法令に則り、西南女学院高等学校における教育を合わせた、中高一貫教育（併設型中学校）を行うことを目的としています。

(5) 西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園(180)

西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園は、教育基本法、学校教育法並びに幼稚園教育要領に基づき学齢未満の幼児を、キリスト教精神をもって保育し、適当な環境を与えてその心身の発達を助長することを目的としています。あわせて、西南女学院大学短期大学部の附属施設として、幼児教育に関する研究並びに保育科学生の実習機関としての役割を果たしています。

3. 主要行事 2016(平成28)4.1~2017(平成29)3.31

- | | |
|--|---|
| <p>4.1 新任職員辞令交付
新任職員オリエンテーション</p> <p>4 新任職員オリエンテーション聖書学課</p> <p>5 大学・大学短期大学部入学式</p> <p>6 中学・高校始業式</p> <p>7 幼稚園始園式
中学入学式
高校入学・進級式</p> <p>8 大学短期大学部前期授業開始</p> <p>11 大学前期授業開始</p> <p>13 幼稚園入園式</p> <p>18 創立記念日</p> <p>21 第1回学院聖書学課</p> <p>5.11 大学短期大学部ミッションデー</p> <p>12 大学ミッションデー</p> <p>18 大学短期大学部ミッションデー</p> <p>19 大学ミッションデー</p> <p>20 墓前祈祷会</p> <p>25 常任理事会、理事会、評議員会</p> <p>27 後援会役員会・幹事会</p> <p>6.2 中学・高校ミッションマンス(6/2、6/9、6/16)</p> <p>16 キリスト教教育特別講演会</p> <p>17 後援会役員会・総会・新旧役員幹事懇親会</p> <p>7.16 大学・大学短期大学部オープンキャンパス</p> <p>20 中学・高校終業式、幼稚園終園式</p> <p>21 第2回学院聖書学課</p> <p>30 中学・高校オープンスクール</p> <p>8.2 大学前期試験(8月12日迄)
大学短期大学部前期試験(8月4日迄)</p> <p>5 大学短期大学部夏期休業(9月11日迄)</p> <p>11 職員研修懇談会(事務・労務)</p> <p>13 大学夏期休業(9月4日迄)</p> <p>17 職員研修懇談会(中学・高校)</p> <p>21 大学・大学短期大学部オープンキャンパス</p> <p>22 中学・高校始業式
職員研修懇談会(幼稚園)</p> <p>29 職員研修懇談会(大学、大学短期大学部)</p> <p>30 後援会交流会</p> <p>9.1 幼稚園始園式</p> <p>10 中学・高校体育祭</p> <p>11 大学・大学短期大学部オープンキャンパス</p> <p>22 中学・高校オープンスクール</p> <p>23 常任理事会、評議員会、理事会</p> <p>26 大学・大学短期大学部後期授業開始</p> <p>10.8 大学助産別科推薦入試
大学短期大学部特待生入試</p> <p>10 幼稚園運動会</p> <p>13 中学・高校ミッションウィーク(15日迄)</p> <p>14 大学助産別科推薦入試・
大学短期大学部特待生入試合格発表</p> <p>15 大学祭(16日迄)</p> <p>20 第3回学院聖書学課</p> | <p>11.5 大学短期大学部指定校・一般公募・卒業生子女・
キリスト教信者・併設校推薦入試
大学短期大学部社会人入試
西南音楽会</p> <p>9 常任理事会
大学短期大学部ミッションデー</p> <p>10 大学ミッションデー
大学短期大学部推薦・社会人入試合格発表</p> <p>11 大学一般公募・卒業生子女・
キリスト教信者推薦入試、社会人入試</p> <p>12 大学指定校・併設校推薦入試
中学・高校オープンスクール</p> <p>16 大学短期大学部ミッションデー</p> <p>17 大学ミッションデー</p> <p>18 大学推薦・社会人・帰国子女入試合格発表</p> <p>12.1 第4回学院聖書学課</p> <p>10 大学助産別科一般入試
幼稚園クリスマス礼拝</p> <p>14 常任理事会、理事会</p> <p>15 大学・大学短期大学部クリスマス礼拝
中学・高校クリスマス礼拝
幼稚園クリスマス祝会</p> <p>16 大学助産別科一般入試合格発表</p> <p>22 中学・高校終業式
幼稚園終園式</p> <p>23 大学・大学短期大学部冬期休業(1/4迄)</p> <p>1.4 中学校前期入学試験</p> <p>5 大学・大学短期大学部後期授業再開</p> <p>10 中学・高校始業式
幼稚園始園式</p> <p>24 高校推薦入学試験</p> <p>2.1 大学短期大学部一般前期入学試験
大学後期定期試験(14日迄)</p> <p>2 大学短期大学部後期定期試験(6日迄)
高校一般入学試験</p> <p>3 大学一般前期入学試験</p> <p>10 大学短期大学部一般前期入学試験合格発表
幼稚園生活発表会</p> <p>11 中学校後期入学試験</p> <p>15 大学一般前期入学試験合格発表</p> <p>16 第5回学院聖書学課</p> <p>3.1 高校卒業式</p> <p>3 大学・大学短期大学部一般後期入学試験</p> <p>10 大学・大学短期大学部一般後期入学試験合格発表</p> <p>11 幼稚園卒園式</p> <p>15 常任理事会</p> <p>18 中学・高校終業式</p> <p>22 理事会・評議員会</p> <p>23 大学・大学短期大学部卒業証書・学位記授与式</p> <p>24 幼稚園終園式</p> |
|--|---|

4. 宗教教育活動 (2016年度宗教委員会報告より抜粋)

◎ 現状と展望

(1) 全体的総括

2016年度は、フィリピの信徒への手紙4章6節b「何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。」が年間聖句に選ばれ、年間主題は「日々の祈り」であった。

2016年度は女学院創立94周年を迎え日々祈りの1年であった。キリスト教教育の中心は礼拝であるが、中学校・高等学校ではロウ記念講堂が、昨年の大雨により大きな被害を受け一学期は礼拝に使用できなかった。大学のチャペル礼拝ではマロリーホールからの大講義室における映像・音声継放送実施は4年目となったが、大学の2年生以上の学生の出席は厳しい状況にある。

「西南女学院キリスト教教育特別講演会」には、八木誠一氏(東京工業大学名誉教授)を迎え、「自我と自己—現代が見失ったものを取り戻すために—」というテーマで講演いただいた。2011年度以降、各分野の専門的研究家を講師に迎えその分野の専門の視点からキリスト教を語っていただいている。2015年度までの講師は、日本文学研究第一人者の佐藤泰正氏、日本の新約聖書神学研究の荒井猷氏、バイオエシックス研究の第一人者の木村利人氏、セーレン・キェルケゴール研究者の橋本淳氏、ヴォーリス建築研究者の田淵結氏であった。

「キリスト教教育研究会」は、若者への伝道をテーマに掲げ10年目の年となった。初めの6年間は、西南女学院とその地域との関わりに於いて、「若者への伝道」をテーマに開いてきたが、7年目の教育研究会総会での提案により、女学院のミッションデー講師を研究会の講師としても招聘するようになった。しかし今年度は、第1回目は、Jonathan Magonet氏(レオ・ベックコレッジ名誉教授、西南学院大学名誉博士・客員研究員)により、「宗教間の対話と平和」と題して発題がなされた。ユダヤ教ラビを招くのは、学院史上初めてのことであった。第2回目は、2017年がルターによる宗教改革500周年であることから、久多良木和夫氏(日本基督教団北九州復興教会牧師)により「罪を贖う道」、泉選也氏(下関バプテスト教会牧師)より「十字架の神学(青野神学)とは何か」と題して「贖罪論と十字架の神学」に関する発題がなされた。

4月に起きた熊本・大分地震の被災者支援として、大学・大学短期大学部では、キリスト教センターと共同で、83名の学生と15名の教職員による街頭での募金活動を行い西日本新聞社へ寄付し、学内募金は同窓会からのものを加えて九州ルーテル学院と九州学院に寄付した。また、大学・大学短期大学部と大学・大学短期大学部ハンドベルクワイヤーは、引き続き熊本・大分地震支援の一環として九州学院にクリスマス募金より捧げた。

(2) 活動の概括

1. 教職員対象のプログラムとしては、例年通り、創立記念式、墓前祈祷会、教職員研修会、キリスト教教育特別講演会、クリスマスツリー点灯式、それに、新任職員オリエンテーション聖書学課、聖書学課、教職員の朝の礼拝(毎日)、教職員祈祷会(中高月1回)を行った。新任職員オリエンテーション聖書学課は、例年同様、終日プログラムで開催。学院聖書学課(年5回)では近隣教会牧師による奨励がなされた。

教職員向けの学内報である広報課発行の「月報」の「今月の聖句」欄を、学院宗教主任、大学短期大学部宗教主事補に加え、理事の2人の先生方が担当された。

2. チャペル礼拝は、本学の根幹であり、礼拝の充実を全学の共通のテーマとして取り組んでいる。中学校・高等学校においては、全体礼拝を、2011年度より、中高一貫教育に照らし、平常のチャペル礼拝もミッションマンズ・ミッションウィークも、すべて中学校・高等学校合同で行なっている。ミッションマンズには講師として、原田昌樹氏(北九州希望の光キリスト教会牧師)、久多良木和夫氏(日本基督教団北九州復興教会牧師)、ロッキー&マーラ綾塚氏夫妻(アロマ・ミニストリーズ)、ミッションウィークには、播磨聡氏(日本バプテスト広島キリスト教会牧師)を迎えた。

大学・大学短期大学部においては、春季ミッションデーは、第1週は、奥村正子氏(神戸松蔭女子学院大学准教授)を迎え、「いつも喜んでいなさい」と題して行われた。第2週は、岡山敦彦氏(大分恵みキリスト教会牧師)を迎え、「若い日の最も大切な選択」と題して行われた。秋季ミッションデーは、第1週は、平良仁志氏(日本バプテスト連盟前理事長、堺キリスト教会牧師)を迎え、大学短期大学部では「私はあなた方を遣わす…蛇のように賢く、鳩のように素直に」、大学では「途方に暮れても絶望せず…十字架と復活から」と題して行われた。第2週は、田淵裕氏(広島三育学院中学校・高等学校校長)を迎え、「人生の目的→検索」と題して行われた。また、大学・大学短期大学部合同クリスマス礼拝では、12年続いてアルモニーサンク「北九州ソレイユホール」を会場に、講師として大西晴樹氏(明治学院大学教授・前院長)を迎え、前半は聖書朗読と讃美によるイエス・キリスト

の生誕物語「平和の君」による、また後半は音楽中心によるプログラムにより、主のご降誕を祝った。大学・大学短期大学のチャペル礼拝のサテライト会場は、出席者が必ずしも多くない礼拝における一体感をより持てる工夫として2会場とした昨年度を継承した。

クリスマス募金については、幼稚園・中学校・高等学校・大学短期大学部・大学、及び大学・大学短期大学部ハンドベルクワイヤーで、例年同様に取組み、募金は、日本バプテスト連盟、「ふれあいの里とばた」、「声なき者の友の輪」等に加え、今年度は新たに熊本地震で多大な損害を受けた九州学院に行った。

3. 近隣諸教会との協力関係により、生徒・学生の教会訪問プログラムが行われた。「教会案内」発行も例年通り行った。同様に、前述した「キリスト教教育特別講演会」、「キリスト教教育研究会」及び、「現代神学を学ぶ会」を行った。「牧師交流会」は、牧師交流会「世話人会」による企画により12年目を迎えた。世話人に塩屋弘氏（ウェスレアン・ホーリネス教団戸畑高峰教会牧師）が久保田理氏（八幡バプテスト教会牧師）の推薦により新たに加わった。

例年より1か月早い8月の「牧師交流会」では、塩屋弘氏の奨励による開会礼拝に続いて、相互の良き交流がなされると共に、宣教へ向けての情報交換が行われた。これらは「キリスト教教育研究会ニューズレター第10号」で報告した。3月の本研究会総会には牧師・教員等が7名出席し、年度の振り返りと次年度の方針決定を行った。

4. 地域へ開かれた活動としては、大学・大学短期大学部ハンドベルクワイヤーと高等学校のハンドベル部が教会、病院、公共施設、福祉施設等で、多くの地域奉仕を行った。その他、前述のキリスト教の諸活動の案内を行った。

5. 教職員の主体的な活動として、基本的に、中学校・高等学校では、定例として月の第一火曜日朝に「祈祷会」が持たれ、村瀬泉校長主催による「聖書の学び会」が継続して開かれた。また、大学では、昨年度に続き、ノンクリスチャンの教員が主体となる「Seijo Bible Café」と題した聖書と親しむ会が10月より8回に亘って開催された。

（3）2016年度の全体的評価と展望

1. 2016年度、年間主題は「日々の祈り」、年間聖句はフィリピの信徒への手紙4章6節b「何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。」であった。この主題はこの数年続いてきた一連の祈りのテーマの一つである。この1年は、熊本・大分地震による被災者、および、病や苦難に直面している生徒・学生を覚え、私たちと共におられ過去・現在・未来を統べ治めたもう主なる神に日々の祈ることを実践する一年であった。次年度は、年間主題を「新たに前に向かって」とし、年間聖句をコリントの信徒への手紙二5章17節「だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた」として掲げる。

2. キリスト教教育の効果としては、中学校・高等学校では、例年と同様に、全体礼拝への全教職員出席が実現しており、自主的教会出席の生徒も皆勤者が多く、サマーキャンプにも多数の参加者が与えられている。大学・大学短期大学部では、4年目を迎えたチャペル礼拝中継放送によるサテライト会場での教職員の出席者は下降した後、横ばいである。聖書学課は、2015年度から牧師による奨励により、全職員にキリスト教の根幹を多角的に理解できる機会を提供し、「キリスト教教育の理解力が高い教職員」の成長に繋がる良い機会となっている。次年度もこの路線を継承する。

3. 2002年から関わっている「広島女学院大学の『平和学習』」に、2016年度は、学生4名が参加し良き学びと交流の機会を得ることができた。「キリスト教センター便り」は、昨年同様、年5回、季刊発行した。「学内の情報のコミュニティー」という当初の発刊目的に加え、「学外への広報誌」としてしての面を強く打ち出し、昨年度から、「西南ニュース」、「ここが知りたいキリスト教」、「教会に歓迎します」等の頁を新設し、キリスト教関連の記事の充実を図っている。次年度は、さらなる高みをめざす工夫をする。

4. 地域諸教会との協力関係を見ると、2016年度は、「キリスト教研究会」・「キリスト教教育特別講演会」・「現代神学を学ぶ会」・「牧師交流会」などにより、継続的な交流がなされ、相互理解の広がりや深まりも増し、学院と諸教会、また諸教会間との関係、若者伝道の課題とそれに向けてのより密接な協力関係が形成されてきている。特に、「キリスト教教育研究会」においては、初めてユダヤ教のラビを招いて宗教間の世界平和へと目を向けた講演や、

地域の教会の牧師による最近の神学研究の発表的な講演を行うなど、多面的となった。今後も、これらの諸活動を通して、一層、主にある地域の諸教会との絆が深くかつ強くなることが期待される。次年度も、この期待に応える活動を実施する。

□ 2016年度 学院年間主題・聖句

年間主題 「日々の祈り」

年間聖句 「何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。」

(フィリピの信徒への手紙4章6節b)

□ 月主題・聖句 (新共同訳)

月	主 題	聖 句
4月	学院の教育の原点	マタイによる福音書 28章 20節
5月	学院の教育の継承	テトスへの手紙 3章 7節
6月	学院の女子教育	ローマの信徒への手紙 12章 10節
7月	地域に仕える学院	コリントの信徒への手紙一 9章 19節
8月	平和	ヨハネによる福音書13章 34C節
9月	基本的人権	マタイによる福音書 25章 45節
10月	環境と生活	ルカによる福音書 12章 27A節
11月	世界にある格差を覚えて	創世記 28章 15節
12月	キリストの誕生	ヨハネによる福音書 17章 3節
1月	キリストにある希望	ローマの信徒への手紙 5章 3b-4節
2月	魂の深まり	箴言 3章 13節
3月	世界に向かってはばたく	コリントの信徒への手紙二 9章 8節

□ 学院聖書学課

全職員を対象とした唯一のプログラムである学院聖書学課が年5回行われている。

実施は次のとおりである。 (16:20~16:50 於:マロリーホール)

月日	奨励者	主題・聖書	司会	奏楽
4/26 (木)	古賀バプテスト教会牧師 金子 敬	「礼拝者となる ～神の像に造られた者として～」 ローマの信徒への手紙12章1-2節	学院宗教主任 古川 敬康	中・高教諭 為頼 康子
7/21 (木)	北九州希望の光キリスト 教会牧師 原田 昌樹	「現代に求められる魂を支える 愛の教育」 イザヤ書43章4節	大学短期大学部 宗教主事補 東 彩子	福祉学科講師 文屋 典子
10/20 (木)	枝光キリスト教会牧師 岩崎 一宏	「キリストに倣いて」 フィリピの信徒への手紙4章1-9節	中学校・高等学校 宗教部長 松下 範枝	中・高教諭 為頼 康子
12/1 (木)	荻田キリスト教会牧師 佐藤 清一	「恵みの水路」 マタイによる福音書 25章 31-46節	大学短期大学部 宗教主事補 東 彩子	中・高教諭 佐野 智江
2/16 (木)	若松バプテスト教会 鬼塚 諫	「聖書の子育て — 親の責任と子の自立 —」 ルカによる福音書 15章11-24節	学院宗教主任 古川 敬康	保育科講師 植村 和彦

□ 各校の主な宗教教育

<p>○ 大学・大学短期大学部</p> <p>A. チャペル（学校礼拝）</p> <p>B. 特別行事</p> <p>(1) 春季ミッションデー 大学短期大学部：（水）5月11日・18日 大学：（木）5月12日・19日</p> <p>(2) 秋季ミッションデー 大学短期大学部：（水）11月9日・16日 大学：（木）11月10日・17日</p> <p>(3) クリスマス礼拝 12月15日（木）13:00～15:00 アルモニーサンク北九州ソレイユホール</p> <p>(4) 送別礼拝 大学短期大学部：1月25日（水） 大学：1月26日（木）</p> <p>C. キリスト教学及びキリスト教的人間観（授業）</p> <p>D. その他の宗教活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハンドベルクワイヤー 2. クリスマン学生の会 3. キリスト教センター諸集会 <p>○ 幼稚園</p> <p>2016年 5月13日（金） 母の日礼拝 6月10日（金） 花の日礼拝 6月19日（日） ファミリー礼拝 9月16日（金） 敬老礼拝 11月 8日（火） 収穫感謝礼拝 13日（日） シオン山教会子ども祝福式参加 12月10日（土） クリスマス礼拝 15日（木） クリスマス祝会 17日（土） シオン山教会教会学校幼稚科 ・小学科合同クリスマス会 18日（日） シオン山教会クリスマス合同 礼拝参加</p>	<p>○ 中学校・高等学校</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 礼 拝 クラス礼拝、放送礼拝 2. 諸集会活動（中高合同） 小羊会 7:50～8:15 第1土曜日 清掃活動 第3土曜日 祈祷会 宗教委員会 金曜日 お昼休み 3. 年間の対外的活動 施設訪問 5月14日（土）「久山療育園」 12月21日（水）「託寿館」（南小倉病院） 4. ミッションマンス（特別伝道月間） 中学校・高等学校合同 6月2日（木）、9日（木）、16日（木） 5. ミッションウィーク（特別伝道週間） 中学校・高等学校合同 10月13日（木）～15日（土） 6. サマーキャンプ 中学校・高等学校合同 7月21日（木）～23日（土） ソラージュ日出 7. クリスマス礼拝 中学校・高等学校合同 12月15日（木） 8. 6年生のための特別礼拝 2017年 2月20日（月）
--	--

5. 学生・生徒・園児

(1) 志願者数

2016(平成28)年5月1日現在

学 校 名		入学定員	入学志願者数		実入学者数		
			推薦	一般	推薦	一般	
大 学	保健 福祉 学部	看護学科	90	55 (5)	283 (3)	49 (5)	53 (1)
		福祉学科	80	35 (3)	170 (4)	35 (3)	40 (1)
		栄養学科	100	49 (1)	186 (4)	48 (1)	47 (2)
		計	270	139 (9)	639 (11)	132 (9)	140 (4)
	人 文学 部	英語学科	60	22 (0)	73 (3)	22 (0)	23 (2)
		観光文化学科	60	29 (0)	73 (3)	28 (0)	22 (0)
		計	120	51 (0)	146 (6)	50 (0)	45 (2)
	助産別科		16	15 (0)	16 (1)	8 (0)	6 (0)
	小 計		406	205 (9)	801 (18)	190 (9)	191 (6)
	累 計			1,006 (27)		381 (15)	
大 学 短 期 部	生活創造学科	100	23 (0)	28 (0)	22 (0)	10 (0)	
	保育科	150	78 (1)	43 (1)	78 (1)	14 (1)	
	計	250	101 (1)	71 (1)	100 (1)	24 (1)	
	累 計		172 (2)		124 (2)		
高 等 学 校	一般中学より	80	6	59	6	20	
	西南女学院中学より	80	29		29		
	計	160	94		55		
中 学 校		80	110		59		
幼 稚 園		満3歳児	20	満3歳児	5	満3歳児	1
		3歳児	30	3歳児	21	3歳児	21
		4歳児	15	4歳児	3	4歳児	3
		5歳児	若干	5歳児	2	5歳児	0

【注】()内は西南女学院高校からの志願者数・入学者数を内数で示す。

大学推薦入試には、AO入試の志願者数・入学者数を含む。

大学一般入試には、社会人入試、センター試験利用入試及び外国人留学生入試の志願者数・入学者数を含む。

短期大学部推薦入試には、AO入試の志願者数・入学者数を含む。

短期大学部一般入試には、特待生入試、社会人入試、センター試験利用入試の志願者数・入学者数を含む。

幼稚園満3歳児は6月以降に入園希望の4名を含む。

(2) 在籍者数

学 校・学科等		新 入 生	総 数	
			2016(平28).5.1 現在	2017(平29).3.31 現在
大 学	看 護 学 科	102	408 (3)	399 (7)
	福 祉 学 科	75	363	361 (1)
	栄 養 学 科	95	397	390 (2)
	英 語 学 科	45	164 (4)	163 (4)
	観 光 文 化 学 科	50	245 (3)	242 (4)
	助 産 別 科	14	14	14
	計	381	1,591 (10)	1,569 (18)
大 学 短 期 部	生 活 創 造 学 科	32	60	57
	保 育 科	92	166	164
	計	124	226	221
中・高 4 5 6 年		55	176	174
中・高 1 2 3 年		59	136	133
幼 稚 園		25	83	97
合 計		644	2,212 (10)	2,194 (18)

(注) 休学者は在籍数の隣に()を付して内数で示す。

(3) 卒業生数

2017(平成29)年5月1日現在

2016(平28)年度卒業生		累 計	旧制女学校卒業生		累 計
学 校 名	人 員		女 学 校		
幼 稚 園	26	3,624	女 学 校		2,147
中 学 校	41	12,207	専 門 学 校 累 計 (203)	英 語 科	87
高 等 学 校	66	14,068		生 活 科	116
大 学 短 期 大 学 部	(英 語 科)	-			
	生 活 創 造 学 科	27			
	保 育 科	73			
	(食 物 栄 養 科)	-			
	計	100			
大 学	看 護 学 科	98			
	福 祉 学 科	95			
	栄 養 学 科	95			
	英 語 学 科	39			
	観 光 文 化 学 科	56			
	人 文 学 科	-			
	助 産 別 科	14			
計	397				
合 計		630	合 計		2,350
総 数 (卒業生総数)			71,135		

(注) 中学校卒業生41名の中、内部高校進学者数41名

6. 教職員組織

教職員数（2017（平成29）年3月1日現在）

	教員数	職員数	計
本部	1	12	13
大学・大学短期大学部	114	52	166
中学校・高等学校	39	1	40
大学短期大学部附属 シオン山幼稚園	8	1	9
計	162	66	228

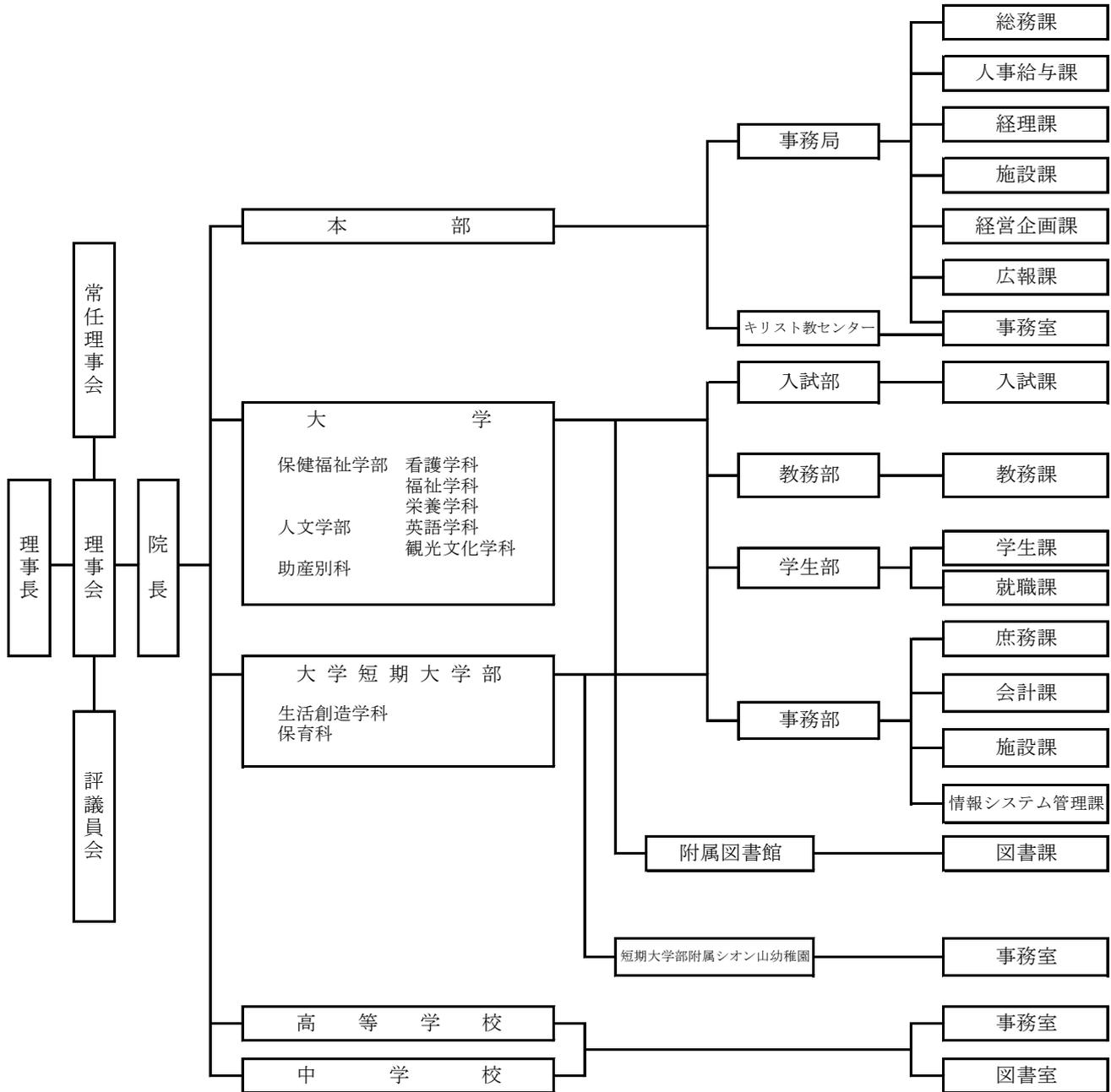
7. 役員・評議員数（2017（平成29）年3月1日現在）

理事（理事長 田中綜二）

定数	19名	現員	18名
監事	定数 2名	現員	2名
評議員	定数 41名	現員	38名

組織図

2017(平成29)年3月1日現在



8. 理事会議案及び決議

2016(平成28)年4月～2017(平成29)年3月

第1回 2016(平成28)年5月25日(水)

- ・2015(平成27)年度事業報告及び決算等について
 - (1) 決算報告 承 認
 - (2) 事業報告 承 認
 - (3) 監事監査報告 承 認
- ・人事について 承 認
- ・学校法人西南女学院内部監査規程制定(案)について 承 認
- ・2017(平成29)年度大学及び大学短期大学部学納金について 承 認

第2回 2016(平成28)年9月23日(金)

- ・人事について 承 認
- ・2016(平成28)年度補正予算(案)について 承 認
- ・2017(平成29)年度予算基本方針(案)について 承 認
- ・西南女学院大学学則改正(案)について 承 認
- ・西南女学院大学短期大学部学則改正(案)について 承 認
- ・理事の補充について 承 認
- ・常任理事の選任について 承 認

第3回 2016(平成28)年12月14日(水)

- ・人事について 承 認
- ・学校法人西南女学院就業規則変更(案)について 承 認
- ・西南女学院育児・介護休業等に関する規程改正(案)について 承 認
- ・ハラスメントの防止等に関する規則改正(案)について 承 認
- ・ハラスメントをなくすために職員が認識すべき事項についての指針改正(案)について 承 認
- ・西南女学院大学学則改正(案)について 承 認
- ・西南女学院大学短期大学部学則改正(案)について 承 認
- ・西南女学院大学「転入学・編入学規程」改正(案)について 承 認
- ・学生委員会規程改正(案)について 承 認
- ・2017年度中学校・高等学校校納金について 承 認
- ・中学校・高等学校校長及び副校長の任命について 承 認
- ・2017(平成29)年度からの理事長について 承 認
- ・事務局長の補職について 承 認

第4回 2017(平成29)年3月22日(水)

- | | | |
|--|---|---|
| ・任期満了に伴う役員及び評議員の選任について | 承 | 諾 |
| ・人事について | 承 | 認 |
| ・西南女学院給与規程改正(案)について | 承 | 認 |
| ・西南女学院事務系職員研修(SD)内規改正(案)について | 承 | 認 |
| ・西南女学院大学「履修規程」改正(案)について | 承 | 認 |
| ・西南女学院大学助産別科「履修規程」改正(案)について | 承 | 認 |
| ・西南女学院大学短期大学部「履修規程」改正(案)について | 承 | 認 |
| ・西南女学院大学学則改正(案)について
1. 看護学科 2. 福祉学科 3. 栄養学科 4. 英語学科 5. 観光文化学科 | 承 | 認 |
| ・西南女学院大学短期大学部学則改正(案)について | 承 | 認 |
| ・動物実験規程改正(案)について | 承 | 認 |
| ・2017(平成29)年度事業計画及び当初予算(案)について | 承 | 認 |
| ・任期満了に伴う監事の選任について | 承 | 諾 |
| ・学校法人西南女学院中期計画(2017~2021年度)案について | 承 | 認 |

第二部

事業の概要・財務の概要

1. 事業及び決算の概要

○ 事業について

2016年度は、教育・研究環境の整備に係る重点項目について事業計画を立てて予算の編成を行い、2015年度第3回評議員会及び第5回理事会において承認を受けて実施し、計画どおりに完了することができました。主な事業は次のとおりです。

[法人本部]

- ・3号館、建物耐震診断調査
- ・ロウ講堂、台風被害補修工事
- ・幼稚園園舎、建物耐震診断調査
- ・中高プール西側及びテニスコート東側、樹木伐採枝切工事
- ・同窓会館南側付近、電柱移設工事
- ・井堀2丁目地区、テレビ電波障害用設備更新工事

[大学・大学短期大学部]

- ・123教室(1号館2階)の改修
- ・黒板ホワイトボード変更及びインタラクティブプロジェクター取付
- ・マロリー館、外壁塗装工事(南側)
- ・1号館、外壁補修及び塗装工事(南側)
- ・2号館・音楽館、給水管更新工事
- ・6号館、火災報知器受信盤取替改修工事
- ・6号館教員研究室等、空調設備取替工事(5室)
- ・6号館3階看護学実習室既設ベッド5台入替
- ・7号館空調機、冷媒管系統組替工事
- ・7号館東側、プランターブロック補強工事
- ・8号館8101講義室及び講義室前ホール、空調機取替工事
- ・8号館教員研究室等、空調設備取替工事(5室)
- ・ラーニンズコモンズの設置・整備
- ・大学短期大学部の第三者評価受審

[中学校・高等学校]

- ・中学棟都市ガス配管敷設工事
- ・図書館空調工事
- ・職員室ファイルサーバー更改

[幼稚園]

- ・保育室等カーテン取替工事
- ・職員室他ブラインド取替工事

○ 決算について（千円以下四捨五入の関係で合計など数値が計算上一致しない場合があります。）

本法人の会計年度は、寄附行為第39条に規定されており、2016年度決算における会計期間は、2016年4月1日から2017年3月31日までの1年間としています。また、当決算は、2015年9月の予算基本方針承認、2016年3月の当初予算承認、2016年9月の補正予算承認を経て執行されてまいりました結果を私立学校法及び学校法人会計基準に則り、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表により表しています。

(1) 資金収支計算書

この計算書は、企業会計のキャッシュ・フロー計算書に相当するもので、①毎会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容を明らかにすること及び②当該会計年度における支払資金（現金及びいつでも引き出すことができる預貯金）の収入及び支出のてん末を明らかにすることを目的とし、本法人の財政規模や資金の源泉、用途を表すものです。

当年度は、前年度繰越支払資金7億2,731万円に本年度資金収入39億4,338万円を加えた46億7,069万円が収入合計（財政規模）となりました。この収入合計から本年度資金支出42億2,298万円を差し引いた翌年度繰越支払資金は、4億4,771万円（期首比2億7,960万円減少）となりました。

(2) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、企業会計における損益計算書に相当し、収支の均衡が取れているかを判断するとともに、純資産の増減を表す計算書です。学校法人は、営利を目的とはしませんが、永続的な運営を求められており、そのためには事業活動収支の均衡の確保も必要な条件となります。2015年度からは、改正学校法人会計基準の施行により「教育活動収支」、「教育活動外収支」、「特別収支」という三区分別経理が導入され、合わせて当年度の収支差額を表示した後に基本金組入額を差し引くことになっています。

教育活動収支は、学校の教育・研究活動に関する収支で、教育活動外収支は、学校の教育活動を側面から支える財務活動及び収益事業活動に関する収支です。この教育活動収支と教育活動外収支は共に経常的な収支ですので、両者を合計したものを「経常収支差額」として表示し、経常的な事業活動が安定的であるかを判断する指標になります。加えてこの計算書には、退職給与引当金繰入額や減価償却額などの非資金も計上されます。特別収支は、学校法人にとって当該会計年度に臨時に発生した事業活動収支であり、収入では資産の売却益があったときの資産売却差額や施設設備に関する寄付金、補助金、現物寄付等が、支出では資産の売却損があったときの資産処分差額や災害損失等が計上され、その差異は「特別収支差額」として表示されます。

当年度の経常収支差額（教育活動収支及び教育活動外収支）は、1億4,133万円の支出超過。これに特別収支差額の△171万円を加えた基本金組入前当年度収支差額は、1億4,304万円の支出超過となりました。これから基本金組入額1億3,474万円を差し引いた当年度収支差額は、2億7,778万円の支出超過となり、前年度繰越収支差額△1億6,982万円と基本金取崩額を加え、翌年度繰越収支差額は、3億5,906万円の支出超過となりました。

(3) 貸借対照表

資金収支計算書や事業活動収支計算書が一会計年度の収支状況を表しているのに対して、貸借対照表は、一会計年度末における学校法人の財政状態（財産の状態）を表示する計算書です。「資産の部」、「負債の部」、「純資産の部」で構成されており、純資産の部は、基本金及び繰越収支差額からなり、保有する資産の調達源泉（自己資金か他人資金か）が明示されています。

・資産の部

「固定資産」は、106億9,720万円（土地、建物、構築物などの有形固定資産52億2,386万円、用途が特定されている預金や有価証券等の特定資産54億4,351万円及びその他の固定資産2,983万円）、「流動資産」は、現金預金4億4,771万円に未収入金、貯蔵品、前払金などを加え6億3,294万円。以上、資産の部合計（総資産）は、113億3,014万円となりました。

・負債の部

退職給与引当金などの「固定負債」8億9,985万円及び返済期限が1年以内の短期借入金や前受金などの「流動負債」5億6,336万円の合計による総負債は、前年度末に比べ6,771万円減少し、14億6,321万円となりました。

・純資産の部

純資産（自己資金）は、「基本金」合計102億2,600万円と「繰越収支差額」△3億5,906万円の合計で98億6,694万円となりました。

・貸借対照表前年比

総資産は2億1,075万円減少し、総負債は6,771万円減少しました。純資産（自己資金）は、前年度末100億998万円、当年度末98億6,694万円で1億4,304万円減少しました。なお、当年度末の純資産構成比率は、87.1%（前年度86.7%）です。

2. 財務の概要（2016年度予算の主な執行状況）

当期の予算の執行状況について、その概況を報告いたします。なお、金額は千円未満を四捨五入して示しています。

(1) 資金収支計算

資金収支計算は、次の目的に基づいて作成しています。

- ①当該会計年度の諸活動に対応する全ての収入及び支出の内容を明らかにする。
- ②当該会計年度における支払資金（現金預金）の収入及び支出のてん末を明らかにする。

資金収支計算について、その主な内容をご報告いたします。

資金収支総括表

【科目の説明です。】		（収入の部）				（支出の部）			
		（単位：千円）							
		科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等からの授業料や入学金などです。科目等履修料、聴講料も含まれます。		学生生徒等納付金収入	2,275,945	2,304,904	△ 28,959	人件費支出	2,237,661	2,355,711	△ 118,050
国や地方公共団体からの助成金です。		手数料収入	34,227	32,989	1,238	教育研究経費支出	705,897	586,363	119,534
翌年度に入学予定の学生生徒等からの授業料や入学金などです。		寄付金収入	53,655	43,081	10,574	管理経費支出	152,417	136,504	15,913
長期、短期の貸付金の回収額。特定の目的のために積み立てた預金等を解約した場合の収入額などです。		補助金収入	431,214	469,214	△ 38,000	借入金等利息支出	929	929	0
収入として計上したが未収入となっているものや前受金収入として前年度までに既に受け入れている収入を差し引くことにより、資金の収入額を調整するためのものです。		資産売却収入	4,038	4,038	0	借入金等返済支出	24,440	24,440	0
		付随事業・収益事業収入	20,679	20,358	321	施設関係支出	50,894	107,528	△ 56,634
		受取利息・配当金収入	17,921	21,644	△ 3,723	設備関係支出	40,139	30,281	9,858
		雑収入	100,338	219,160	△ 118,822	資産運用支出	115,510	112,757	2,753
		借入金等収入	0	0	0	その他の支出	982,664	903,439	79,225
		前受金収入	479,025	412,669	66,356	資金支出調整勘定	△ 21,973	△ 34,970	12,997
		その他の収入	1,106,562	1,015,901	90,661	当年度資金支出合計	4,288,579	4,222,982	65,597
		資金収入調整勘定	△ 500,148	△ 600,577	100,429	翌年度繰越支払資金	462,189	447,711	14,478
		当年度資金収入合計	4,023,456	3,943,381	80,075	支出の部合計	4,750,768	4,670,693	80,075
		前年度繰越支払資金	727,312	727,312					
		収入の部合計	4,750,768	4,670,693	80,075				
						当年度資金収支差額	△ 265,123	△ 279,601	14,478

* 上記の金額は千円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。なお、以下の表についても同様です。

学校会計について

学校法人は、教育研究活動を目的とし、その経費の多くは学生生徒等納付金、補助金、寄付金等により賄われているきわめて公共性の高い法人で、営利を目的とする企業とは異なります。

公共性が高い学校法人が教育研究活動を継続して行い永続的に存続していくためには、収支の均衡状況と財政状態を正しく捉え健全な経営を行わなければなりません。そのため学校法人会計は、文部科学省令により定められた「学校法人会計基準」に基づき経理処理が行われ、計算書類（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び附属する内訳表、明細表）を作成しなければなりません。

一方、企業会計では、損益計算書と貸借対照表そして上場企業においてはキャッシュフロー計算書が作成されます。企業会計では、収益と費用を正しく捉えて損益を計算し、併せて企業の財政状態（資産、負債及び資本）を知ることによって、より収益力を高め、財政的安全性を図ることを目的としています。

(2)事業活動収支

事業活動収支計算は、次の目的に基づいて作成しています。

- ①当該会計年度の活動に対応する事業活動収入及び活動支出の内容を明らかにする。
- ②当該会計年度の基本金組入後の均衡の状態を明らかにする。
- ・事業活動収入とは、当該会計年度の学校法人の負債とならない収入として計算するものとする。
- ・事業活動支出とは、当該年度において消費する資産の取得価格及び当該会計年度における用役の対価に基づいて計算するものとする。

事業活動収支計算について、その主な内容をご報告します。

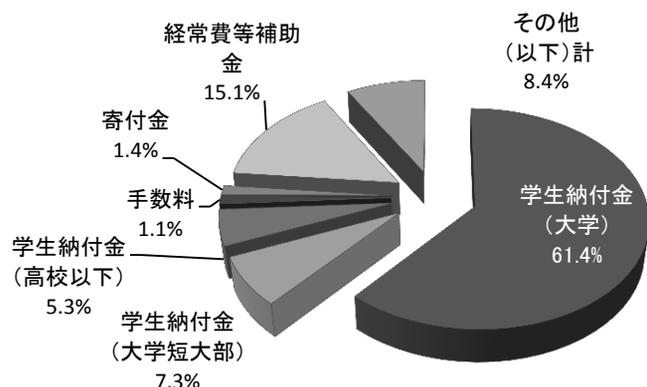
事業活動収支総括表

(単位:千円)

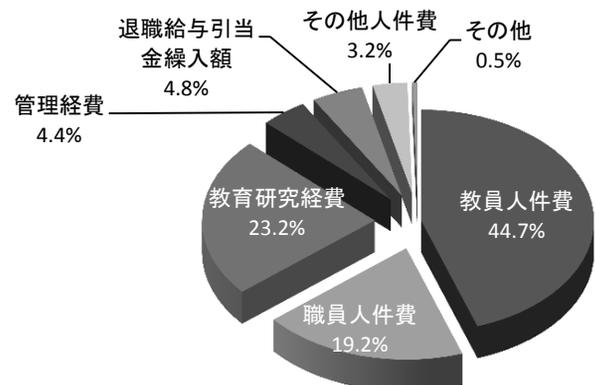
【科目の説明です。】		科目	予算	決算	増減	
<p>学校法人への寄付による収入です。現物寄付も含まれます。</p> <p>教職員に支払われる給与などです。</p> <p>学生生徒等の教育研究のために支出する経費です。教育研究経費の中には減価償却額が含まれます。</p> <p>総務、人事、財務、経理等の業務に要する経費、教職員の福利厚生のための経費などです。</p> <p>学生生徒等納付金の納付困難、貸付金の回収不能に備え、見込額を引当金として準備します</p> <p>事業活動収入から事業活動支出を差し引いたものであり純資産の増加を示します。</p> <p>良好な教育環境を維持するための施設・設備等の額であり、基本金組入前当年度収支差額から差し引く金額です。</p>	教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	2,275,945	2,304,904	△ 28,959
		手数料	34,227	32,989	1,238	
		寄付金	53,655	43,146	10,509	
		経常費等補助金	429,214	469,151	△ 39,937	
		付随事業収入	20,679	20,358	321	
		雑収入	100,338	219,251	△ 118,913	
		教育活動収入計	2,914,058	3,089,799	△ 175,741	
		事業活動支出の部	人件費	2,237,369	2,351,092	△ 113,723
		教育研究経費	877,048	757,502	119,546	
		(うち、減価償却額)	(171,151)	(171,127)	(24)	
		管理経費	157,829	142,237	15,592	
		(うち、減価償却額)	(5,412)	(5,412)	(0)	
		徴収不能額等	0	1,009	△ 1,009	
		教育活動支出計	3,272,246	3,251,841	20,405	
教育活動収支差額	△ 358,188	△ 162,042	△ 196,147			
教育活動外収支	事業収入の部	受取利息・配当金	17,921	21,644	△ 3,723	
	その他の教育活動外収入	0	0	0		
	教育活動外収入計	17,921	21,644	△ 3,723		
	事業支出の部	借入金等利息	929	929	0	
	その他の教育活動外支出	0	0	0		
	教育活動外支出計	929	929	0		
教育活動外収支差額	16,992	20,715	△ 3,723			
経常収支差額		△ 341,196	△ 141,326	△ 199,870		
特別収支	事業収入の部	資産売却差額	4,038	4,038	0	
	その他の特別収入	2,000	804	1,196		
	教育活動外収入計	6,038	4,842	1,196		
	事業支出の部	資産処分差額	0	6,556	△ 6,556	
	その他の特別支出	0	0	0		
	教育活動外支出計	0	6,556	△ 6,556		
特別収支差額	6,038	△ 1,714	7,752			
基本金組入前当年度収支差額		△ 335,158	△ 143,040	△ 192,118		
基本金組入額合計		△ 80,633	△ 134,744	54,111		
当年度収支差額		△ 415,791	△ 277,784	△ 138,007		
前年度繰越収支差額		△ 169,821	△ 169,821	0		
基本金取崩額		80,841	88,544	△ 7,703		
翌年度繰越収支差額		△ 504,771	△ 359,061	△ 145,710		
(参考)		事業活動収入計	2,938,017	3,116,285	△ 178,268	
		事業活動支出計	3,273,175	3,259,325	13,849	

※経常収入=教育活動収入+教育活動外収入=3,111,443千円
 ※経常支出=教育活動支出+教育活動外支出=3,252,769千円

経常収入(3,111,443千円)の構成比率



経常支出(3,252,769千円)の構成比率



(3) 貸借対照表

① 貸借対照表とは、年度末における学校法人の財政状態(財産の状態)を表示する計算書であり、資産・負債・純資産及び消費収支差額の項目があります。

- ・資産とは、教育研究活動に使用される学校法人の財産です。・負債とは、将来返済しなければならない債務です。
- ・基本金及び繰越収支差額は、返済の必要のない学校法人の純資産です。

貸借対照表について、前年度末からの増減の主な理由を報告します。

【科目の説明です。】

貸借対照表

(単位:千円)

資産の部		本年度末	前年度末	増減
科目				
固定資産		10,697,199	10,713,548	△ 16,349
有形固定資産		5,223,861	5,268,406	△ 44,545
土地		708,623	708,623	0
建物		3,065,589	3,080,659	△ 15,070
構築物		191,285	203,611	△ 12,326
教育研究用機器備品		160,222	187,849	△ 27,627
管理用機器備品		1,859	2,459	△ 600
図書		1,096,283	1,085,205	11,078
特定資産		5,443,506	5,413,491	30,016
第2号基本金引当特定資産		55,398	54,398	1,000
第3号基本金引当特定資産		154,049	150,495	3,554
諸引当特定資産		5,234,059	5,208,597	25,462
その他の固定資産		29,830	31,650	△ 1,820
電話加入権		4,450	4,450	0
長期貸付金		5,189	7,009	△ 1,820
出資金		20,173	20,173	0
敷金・保証金		18	18	0
流動資産		632,944	827,344	△ 194,400
現金預金		447,711	727,312	△ 279,601
未収入金		181,062	91,596	89,466
貯蔵品		1,191	1,459	△ 268
前払金		164	1,279	△ 1,115
立替金		2,171	5,627	△ 3,456
仮払金		645	71	574
合計		11,330,143	11,540,892	△ 210,750
負債の部、純資産の部				
科目				
固定負債		899,849	947,679	△ 47,830
長期借入金		0	24,440	△ 24,440
長期未払金		18,900	37,670	△ 18,770
退職給与引当金		880,949	885,569	△ 4,620
流動負債		563,358	583,238	△ 19,880
短期借入金		24,440	24,440	0
未払金		52,461	49,870	2,591
前受金		412,669	418,506	△ 5,837
預り金		49,367	62,051	△ 12,684
修学旅行費預り金		24,420	28,371	△ 3,951
計		1,463,207	1,530,917	△ 67,710
純資産				
基本金		10,225,996	10,179,797	46,199
繰越収支差額		△ 359,061	△ 169,821	△ 189,239
※計		9,866,935	10,009,976	△ 143,040
合計		11,330,142	11,540,892	△ 210,750

校地、校舎、体育館などの建物及び建物付属設備(空調など)の額のことです。

教育研究のために使用される機械設備などの額です。

将来に備えて積み立てている資産のことです。

学生生徒等に貸与している奨学金の額のことです。

現金及びすぐに引き出すことのできる預貯金の額のことです。

決算日(3月31日)における退職資金交付額、補助金額等

返済期限が1年以上の借入金のことです。

201年度末に教職員全員が退職した場合に支払われる退職金の見積額のことです。

返済期限が1年以内の借入金です。

翌年度に入学する学生生徒等から受け入れた授業料や入学金などの額のことです。

財産的な基盤を確保する額のことです。学校法人を安定的かつ持続的に経営していくために必要な額です。

ロウ講堂台風被害補修をはじめ、大学・大学短期大学部図書館のラーニングコモンズ設置、8号館GHP空調機更新、6号館火災報知器受信盤取替、1号館外壁塗装、中高図書館の空調取替工事等を行いました。

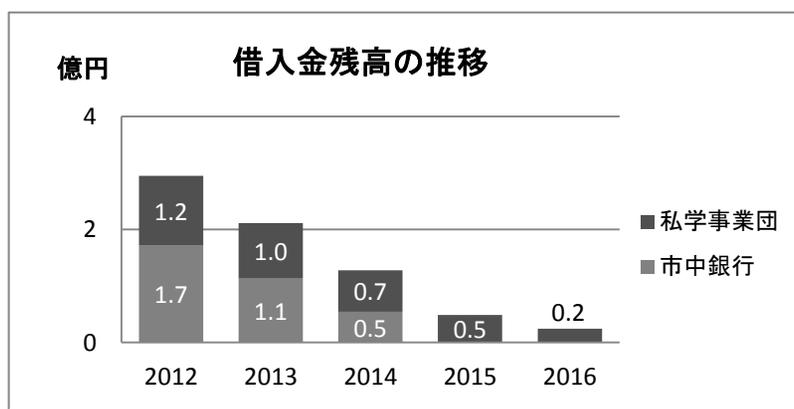
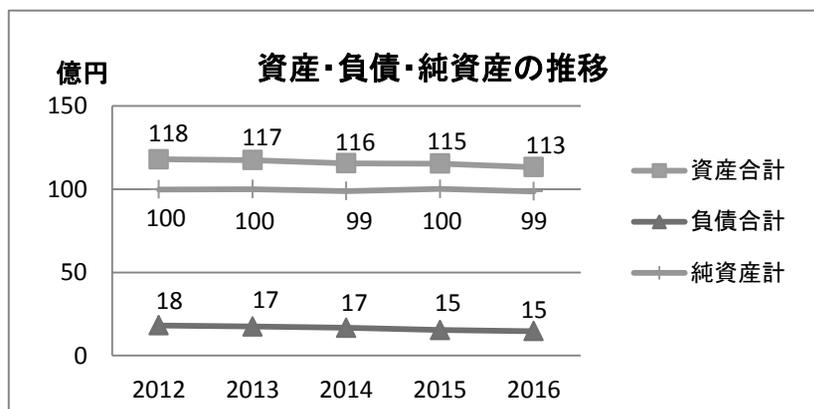
年度末退職者への退職金財団からの資金交付金、国・県・市からの補助金・助成金等を未収入金として計上しています。

過年度に情報処理演習室のパソコン等を5年リースにて取得。総支払額が300万円以上のものを資産(備品)扱いとしています。これにより未払相当額を長期未払金として計上しています。

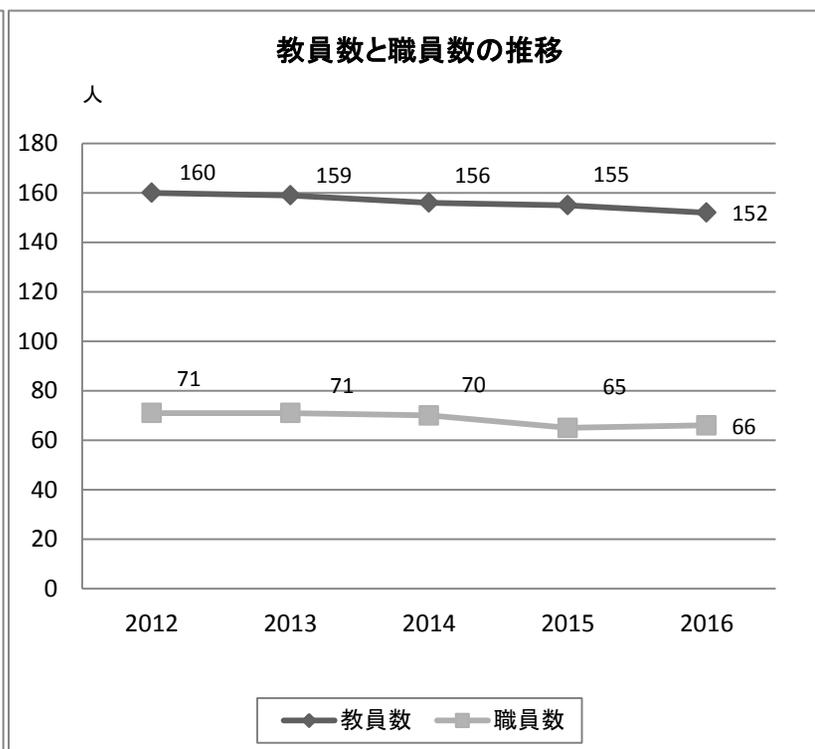
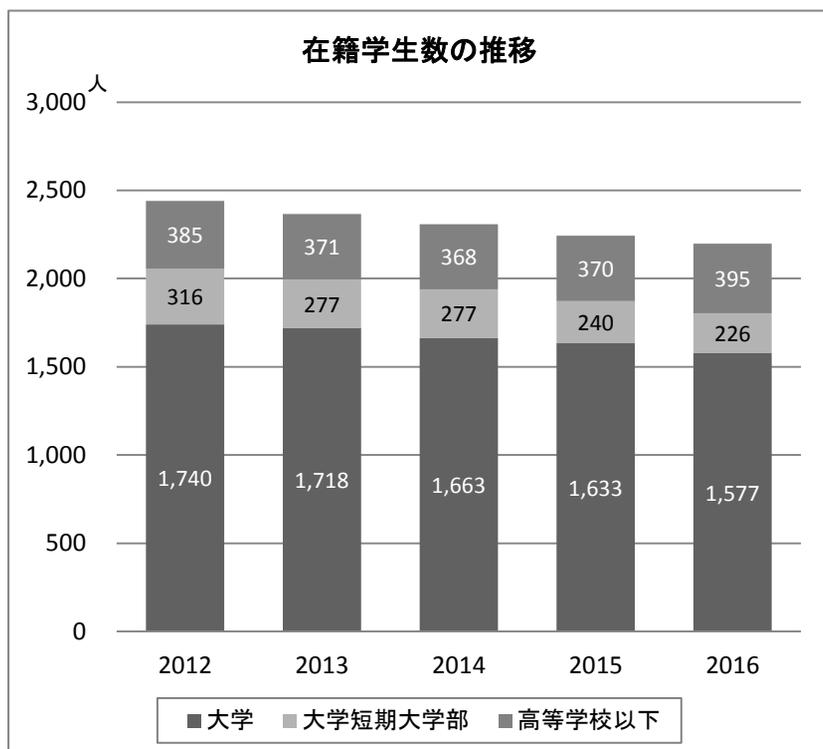
負債が6,771万円減少しました。

資産が1億4,304万円減少しました。

減価償却額の累計額	4,619,347	4,507,823	111,524
基本金未組入額	62,110	107,776	△ 45,666



(4) 学生数・財務比率などの推移



計算書類について

資金収支計算書

当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金の収入及び支出のてん末を明らかにするものです。

事業活動収支計算書

当該会計年度の事業活動収支の内容を明確にし、事業活動収支の均衡を表すものです。

計算書の構造は、教育・研究活動(教育活動)と財務活動で生じる利息等(教育活動外収支)、資産売却等の臨時的収支(特別収支)に区分され、各区分の収支差額から経営状態の健全性を把握することができます。

貸借対照表

当該会計年度末における資産・負債・純資産(基本金及び収支差額)の状況を把握し、財政状態を表すものです。

主な財務比率等の推移

△は高い方が良い。 ▼は低い方が良い。

(1) 事業活動収支計算書関係比率

(単位:%)

分類	財務比率	算式	評価	2015年度	2016年度
経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額	△	3.8	-4.6
		事業活動収入計			
収入構成は どうなっているか	学生生徒納付金比率	学生生徒納付金	-	74.6	74.1
		経常収入(※1)			
	経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金	△	3.5	1.4
		経常収入			
	経常費補助金比率	経常費補助金	△	15.9	15.1
		経常収入			
支出構成は適切か	人件費比率	人件費	▼	69.7	75.6
		経常収入			
	教育研究経費比率	教育研究費	△	22.6	24.3
		経常収入			
	管理経費比率	管理経費	▼	4.4	4.6
		経常収入			
収入と支出の バランス	人件費依存率	人件費	▼	93.4	102.0
		学生生徒納付金			
	基本金組入後収支比率	事業活動支出	▼	102	109.3
		事業活動収入計-基本金組入額			

※1 経常収入=教育活動収入計+教育活動外収入計

(2) 貸借対照表関係比率の推移

分類	財務比率	算式	評価	2015年度	2016年度
自己資本は 充実しているか	純資産構成比率	純資産	△	86.7	87.1
		負債+純資産			
	基本金比率	基本金	△	98.9	99.4
		基本金要組入額			
資産構成は どうなっているか	流動資産構成比率	流動資産	△	7.2	5.6
負債に備える資産が 蓄積されているか	流動比率	流動資産	△	141.9	112.4
		流動負債			
負債の割合は どうか	負債比率	総負債	▼	15.3	14.8
将来の安全性	積立率	運用資産(※1)	△	109.7	103.2
		要積立額			

※1 運用資産=現金預金+特定資産+有価証券

※2 要積立額=減価償却累計額+退職給与引当金+第2号基本金+第3号基本金

